

最年少

未踏ユース採択

「未踏ユースは、いい刺激になりました」と星月優佑さん



星月 優佑（ほしづき ゆうすけ）さん 加茂野町

私立美濃加茂中学高等学校3年生（18歳）

平成16年度未踏ソフトウェア創造事業（未踏ユース）において高校生では初の採択者になりました。未踏ソフトウェア創造事業とは、独立行政法人 情報処理推進機構が、政府の進めるミレニアム・プロジェクトの一環として、経済産業省からの補助を得て、ソフトウェア関連分野で優れた能力を有する「スーパークリエーター」を発掘支援することを目的に実施しているものです。星月さんは「アニメーション（人口画）向けの超低損失動画圧縮の開発」をテーマに、イラストなどの絵や文字、枠線などを、よりきれいに長時間記録する方法を開発しました。

その結果、「スーパークリエーター」には惜しくも選定されませんでした。が、「準スーパークリエーター」に選ばれました。

大きな業績を上げると
思います

私立美濃加茂中学高等学校
進路指導部長・担任

和多田 徹 先生



星月君は、明るくて朗らかな生徒です。理数系の科目が大好きで、集中して取り組みます。パソコン仲間が多く、昨年の文化祭のオープニングや、卒業式の総合プロデュースを手掛けたりしました。

未踏ユースの研究成果で、大学も決定しました。進学して、未踏ユースで学んだことを生かした研究を続けてほしいと思います。

研究家タイプの彼なら、大きな業績を上げると思います。